

株式会社 松屋 2017年6月上報告

1. 店舗別 売上高概況 (単位:%)

	売上高	入店客数
① 銀座本店	-0.6	-0.7
② 銀座店	-0.9	-2.7
③ 浅草店	2.5	2.5

① 銀座本店 : 「銀座本店」の数値は「銀座店」と「浅草店」両店計の売上高対前年増減率を表記いたしております。
 ② 銀座店 : 「銀座店」のみの売上高対前年増減率を表記いたしております。
 ③ 浅草店 : 「浅草店」のみの売上高対前年増減率を表記いたしております。

2. 売上高対前年増減率推移 (単位:%)

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
銀座本店	-7.1	-17.5	-13.1	-10.2	-5.2	-4.2	-0.8	-3.6	0.9	4.0	-2.3	-0.6
松屋銀座	-7.5	-18.5	-13.5	-10.5	-5.7	-4.2	-0.6	-3.3	1.4	3.0	-2.4	-0.9
松屋浅草	-1.6	-4.4	-7.3	-5.2	0.4	-4.2	-3.1	-8.4	-5.0	16.5	-0.4	2.5

3. 店舗別商況

銀座店	銀座店は、クリアランスセールが6月30日に前倒してスタートしたことにより、婦人衣料の売上が伸長、化粧品や婦人雑貨も大きく売上を伸ばし、売上高は前年を上回る結果となりました。また、惣菜・寿司弁当・和洋菓子が好調に推移した結果、食料品は月間を通して好調を維持し、売上高は前年を上回りました。しかしながら、免税売上高において、中国の連休となる端午節の月ずれ(本年は5月末、昨年は6月上旬)等による売上の減少が全体を引き下げる要素となったことに加え、大口受注減のマイナス影響等もあり、店全体の売上高はわずかに前年を下回りました。
浅草店	浅草店は、食料品において惣菜・寿司弁当・洋菓子、また、婦人部門では化粧品や婦人雑貨が売上を牽引し、売上高は2ヶ月ぶりに前年を上回りました。

4. 商品別売上高対前年増減率 (単位:%)

	銀座本店	松屋銀座
紳士服・洋品	1.3	1.3
婦人服・洋品	3.1	3.1
子供服・洋品	-8.4	-8.4
呉服寝具他	-3.1	-1.9
衣料品計	1.9	1.9
身廻り品	-1.4	-1.4
雑貨	-11.6	-11.8
家具	-4.6	-4.5
家電	20.7	15.0
家庭用品	-4.5	-4.3
家庭用品計	-3.4	-3.5
食料品	0.8	1.1
食堂・喫茶	22.9	22.9
サービス、その他	37.4	40.5
合計	-0.6	-0.9

商品別概況(銀座店)

*紳士服・洋品、婦人服・洋品ともに、クリアランスセールが6月30日に前倒してスタートしたことにより、売上高は前年を上回る結果となりました。婦人服においては、不安定な天候等に影響され、月間を通して盛夏物商材の商況がやや鈍い中、ブラウス・シャツ、また、スカート等に堅調な動きが見られました。

*身廻り品は、サンダル等の盛夏物商材の動きが堅調だったものの、ハンドバッグや婦人アクセサリーの動きがやや鈍く、売上高は前年を下回りました。

*雑貨は、宝飾・時計において売上高が前年を大きく下回り全体を引き下げましたが、化粧品は引き続き好調で前年に対して二桁の伸びを示しております。

*食料品は、惣菜・和洋菓子が好調に推移し、全体で月間を通して好調を維持し、売上高は前年を上回りました。

(特記事項)

*特にございません。